

3. 地域と児童の実態

①地域の实態

和歌山市のほぼ中央部に位置し、世帯数1,901戸、人口男1,947人、女2,279人、計4,226人（国勢調査基準人口世帯数による平成21年4月現在）の住宅街である。古くから住宅地として開け、戦後は団地造成がなされ、人口が急増してきた。しかし、その後は児童数も増加することなく、逆に転出などの理由で減少傾向となった。

平成16年度より複合区が広がったこともあり、児童数はやや増加傾向が見られたが、一昨年度より減少傾向になりつつある。

地域団体の交流も多く結束の固い土地柄で、学校教育に協力的であることはもとより、地域ぐるみの教育力を持つところである。

②児童の実態

子どもたちは全体に明るく素直で、純真であり、学年を越えた交流もあり、自然や動物・植物などを慈しむ心も持っている。しかし、人前に立って話をしたり、困難なことに出会ったりすると、やや引っ込みがちな面を見せる。

また、向上しようとする意欲を個々それぞれは充分内に秘めているが、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を伸ばしていく必要がある。